

# アオインオン株式会社

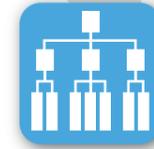
一級建築士事務所 特定建設業許可（国土交通大臣）  
ISO14001:2004（東京・静岡・大阪） ISO9001:2008（東京・静岡・大阪） 認証取得



Doctor+Manager



C-O-S  
Carbon Offset Sign



Organizational Governance



Consumer Issues



Environment



Labor Practice



Fair Operating Practices



Community Involvement



Human Rights

# CSR

report 2015



AOI NEON Co.,Ltd.

## 編集方針

アオイネオンは、企業としての社会的責任と事業活動を通じた社会課題解決への取り組みの成果をご報告し、当社の「社会からの要請に応える力」をステークホルダーの皆様にご理解いただくためのコミュニケーションツールとして、毎年「アオイネオンCSRレポート」を発行しています。

2015年度の「CSRレポート」（本冊子）は、当社のCSRにおける重要な取り組みや進捗のあった活動などを中心に、アオイネオンのCSR活動の全体像をよりわかりやすくまとめています。

アオイネオンCSR特設WEBサイトでは、本冊子よりも詳細な報告に加え、さまざまな情報を網羅的に開示しています。

なお、今後の活動の参考とさせていただくため、当社Webサイトから皆様のご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

■アオイネオンのCSRをご理解いただくために、CSRの考え方を明確に表現するとともに、出来る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、取り組み事例を掲載しました。

■CSRの課題を社内外で確認・共有し、解決する機会として頂戴した第三者意見や第三者評価を掲載しています。

### ① 対象読者

お客様、お取引様、株主様、従業員、そして地域社会など、様々なステークホルダーの皆様。

### ② レポート対象範囲

アオイネオン(株)の全拠点（ただし、全項目について全事業所を網羅するわけではなく、テーマに基づいて代表的な事例を掲載しています。

（数値データにはそれぞれの対象範囲を記載しています）

### ③ レポート対象期間

2014年度（2014年8月1日～2015年7月31日）とし、一部トピックスについては、それ以降の活動も掲載しています。

### ④ 参考としたガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン」

環境省「環境会計ガイドライン」

ISO26000:2010



アオイネオン CSR 特設 WEB サイト  
<http://aoineon.co.jp>

## Top Commitment

### CSRコミュニケーションを通じた リーダーシップの実践



CSRレポート2015の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年より屋外広告物の適正化と持続可能な街づくりを実現するための新たなアオイネオンのCSRミッションとして「リーダーシップのCSR」を掲げて活動して参りました。

それは、以前のように自社内部での活動を以て完結とするのではなく、私たちの活動を業界と地域にまで広げ、行政とも一体となって協働するというものです。その実現には戦略的なリーダーシップが必要だという考えです。

このCSRミッションは、全国の7割以上が違法であるという屋外広告物の現状を変革することを可能にし、アオイネオンのイノベーションの醸成にも繋がると確信しています。

また、この目標を達成するための手段として、CSRコミュニケーションに注力しました。幅広く対話を進め、信頼の獲得、ブランド価値向上、影響力の拡大といった、ステークホルダー・エンゲージメントの実践に努めました。

成果として、業界や地域社会の抱える課題に行政と協働で対処するという活動が、幾つも実現しました。社内ではCSR委員会を再編し、拠点、部署、役職などを縦横にクロスした構成として、会社全体を巻き込みながらコミュニケーション戦略の策定を行なうようにしました。

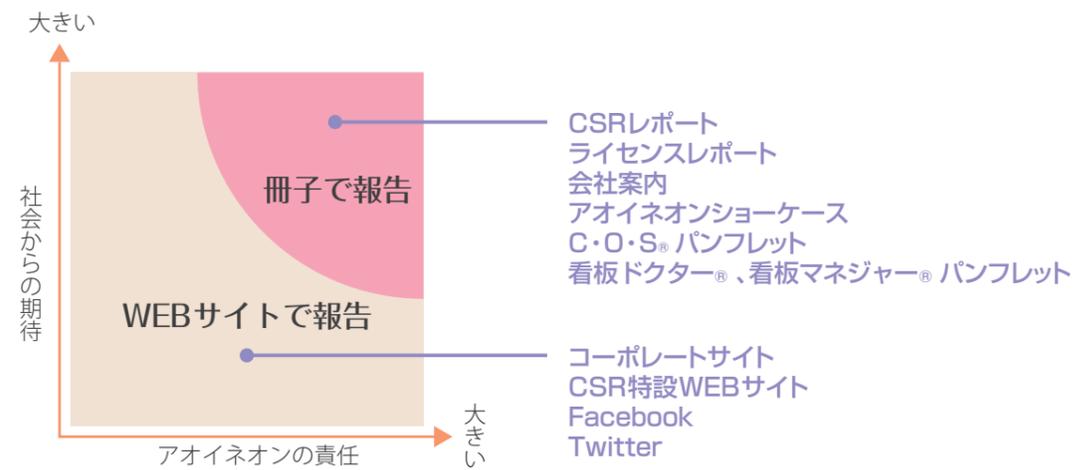
私たちは今後さらにCSRコミュニケーションを推進し、使命である美しい景観の創出に向け、事業活動を通じて挑戦してまいります。まだまだ未熟ではありますが、13冊目になりましたCSRレポートをご覧いただき、当社の活動に対する忌憚のないご意見を賜ることができましたら幸いに存じます。

代表取締役社長

横山 巖

## コミュニケーションツールのご紹介

アオイネオンは、さまざまなかたちでステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを進めています。



### 総合的な情報について

#### ホームページ



アオイネオンに関する情報を幅広く紹介しています。

URL <http://www.aoineon.com>

### CSR活動について

#### CSR特設WEBサイト



アオイネオンのCSRに関する情報を幅広く紹介しています。

URL <http://www.aoineon.co.jp>

### Twitter



新しいCSRコミュニケーションの試みとしてTwitterを開設しました。

### Facebook



FacebookでCSR活動をタイムリーに公開しております。

### CSR活動について

#### CSRレポート



アオイネオンが果たす社会的責任について紹介するレポートです。

### 製品・サービスについて

#### アオイネオン ショーケース



施工事例や新商品・サービスに関する情報を紹介しています。

### 業務許認可・資格について

#### ライセンスレポート



お客様に安心してご発注して頂くために、工事に必要な許認可や資格についてご説明しております。

#### C・O・S® パンフレット



「C・O・S® (カーボン・オフセット・サイン)」に関する情報を詳しく紹介しています。

### 企業活動全般について

#### 会社案内



アオイネオンの目指す企業像、事業の現状を紹介する会社案内です。

#### 看板ドクター®, 看板マネジャー® パンフレット



「看板ドクター®」、「看板マネジャー®」のサービスに関する詳しい情報を紹介しています。

アオイネオンの  
CSRについて

本レポートでは、アオイネオンのCSRを大きく二つに分けてご紹介します。  
企業として社会的責任を果たすための基本的な取り組み『CSR Standard』と、  
アオイネオンならではの積極的な取り組み『CSR Challenge』です。  
私たちは二つのCSRを通じて、社会から支持される「価値ある企業」を目指します。

# CSR Challenge

事業活動を通じて社会的課題解決に  
貢献するための積極的な取り組みです。



COS TREE



C・O・S  
カーボン・オフセット・サイン



診断管理サポートシステム

# CSR Standard

社会的責任を果たすための基本的な取り組みです。

ISO26000 「7つの中核主題」



組織の統治



公正な事業慣行



環境



労働慣行



人権



消費者課題



コミュニティへの参画  
及び  
コミュニティへの発展

## 目次

編集方針	01
Top Commitment	02
コミュニケーションツールのご紹介	03・04
アオイネオンのCSRについて	05
目次	06
ステークホルダーとの7つのコミュニケーション	07
お客様とのコミュニケーション	08
お取引先とのコミュニケーション	09
CSR企業・NPOとのコミュニケーション	10
メディア・有識者とのコミュニケーション	10
学生とのコミュニケーション	11
行政とのコミュニケーション	12
従業員とのコミュニケーション	12
『省エネ×オフセット』で継続的な環境配慮を実感	13
看板の省エネ改良	14
第三者によるカーボン・オフセットの証明	14
ご採用事例	15・16
看板診断システム「看板ドクター®」	17
さまざまな検査機器と独自の検査システムでお客様の負担を軽減	18
8年間で3,500件8,000アイテムの実績	18
電子カルテ閲覧システム「看板マネジャー®」	19
「より多くの情報」を「より分かりやすく」、「誰にでも」	19
法令チェックを怠りません	20
『不動産ソリューションフェア』出展	20
コンプライアンス方針に基づく企業活動の推進	21
「企業倫理に関する方針」「行動規範」の制定	21
社内体制	22
経営方針発表会・CSR委員会	22
報告・相談への対応の流れ	22
ライセンスレポートによるご説明	23
建設業許可と専任技術者	23
屋外広告業の登録	23
東京本社 ISO27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) 認証取得	24
情報セキュリティ基本方針	24
環境マネジメントシステムへの取り組み	25
社内教育の実施・テレビ会議を採用	25
しずおか未来の森サポーター	25
アオイネオンの環境方針	26
主な環境影響と保全活動	26
2014年度環境目標に対する実績	27
環境会計	28
安全衛生委員会 2014年度目標と結果	29
安全衛生委員会の主な活動と組織体制	29
アオイネオン安全大会・熱中症対策	30
安全パトロール・作業環境測定	30
緊急事態への対応	30
Interview (福岡営業所 的場)	30
人材育成の考え方	31
「資格取得支援制度」で社員のプロフェッショナル化を支援	31
CSR検定	31
静岡市女性の活躍応援事業所表彰	32
基本的人権の尊重に対する取り組み	32
ワーク・ライフ・バランスの推進	32
品質管理に関する監査・ネオンマイスター	33
『資格・教育プロジェクト』による人材育成	33
アオイネオンの品質方針	34
すべてのプロセスで品質保証を徹底	34
アオイネオン駅伝部	35
共同違反広告除去活動	35
『小さな親切運動』	36
『使用済み切手の収集活動』	36
『エコキャップ運動』	36
Interview (大阪支店 水島)	36
2015年CSR行動計画 守るCSR (40項目)	37・38
伸ばすCSR (20項目)	39
弊社のCSR活動に対する第三者評価	40
本年度メディア記事掲載のご案内	41
『CSRレポート2014』へのご意見・ご要望	41
編集後記	42
企業概要	42



未来をカタチにする『COS-TREE』

「この先も私たちが暮らす社会が豊かなものであってほしい」一人ひとりの思いや行動が集まり、やがて大きな森になる。私たちは、社員によるボランティア活動やチャリティへの参加、NPO や自治体と連携したイベントの参加など、様々なステークホルダーとのコミュニケーションを通じて「アオイネオンのCSR」を伝えることでCSR活動の幅を広げて行きます。

## ステークホルダーとの7つのコミュニケーション



## 1 お客様とのコミュニケーション

【営業チームC・O・Sプロジェクト】

小型の看板から大型ネオン塔まで、これまでC・O・S® (カーボン・オフセット・サイン®) によりオフセットされたCO<sub>2</sub>は全国で1,000tを超えました。アオイネオンは企業のブランディングを通じて地球温暖化対策への取り組みをサポートいたします。

株式会社アイエス様      株式会社あさひ様 (3店舗)      トヨタカローラ静岡株式会社様



(営業：大阪支店 / 益谷)



(営業：静岡本社 / 青嶋)



(営業：静岡本社 / 大簗)

「環境月間」に合わせて、6月～7月により多くのお客様と地球温暖化対策に取り組むための「Wゼロ」キャンペーンを実施いたしました。期間中に御成約されたお客様には、通常は費用が掛かるCO<sub>2</sub>排出権を期間中「ゼロ」(無償)でご提供させていただきます。<sup>※1</sup>

期間中新たに「株式会社アイエス様」、「株式会社あさひ様」、「トヨタカローラ静岡株式会社様」にご採用いただきました。これからもお客様と一緒に地球環境にやさしい街づくりを実現します。(詳細はP15をご覧ください)



トヨタカローラ静岡株式会社  
管理本部  
総務室兼役員室 室長 伴野茂樹様

### Interview

大簗：弊社のC・O・S® (カーボン・オフセット・サイン®) をご採用くださりありがとうございました。今回御殿場店でご採用いただいたポイントをお聞かせください。

**伴野様** 弊社のCSR基本方針「地球環境と地域社会の持続可能な発展」に通じるのを感じました。また次世代自動車ハイブリット車を販売する会社ですのでCO<sub>2</sub>の削減に積極的に取り組むことは本業とも一致します。

大簗：御社は地域への貢献活動にも積極的に取り組まれています。看板のカーボン・オフセットもそのなかの一つとお考えなのでしょうか？

**伴野様** 弊社は販売店舗ごとに様々な地域貢献活動を行っていますが、さらに裾野を広げ地球規模での活動としてカーボン・オフセットに取り組み、豊かな環境を次世代に引き継ぐことは私たちの新たな目標です。

大簗：ご採用後の外部からの評価や気付いた点などはございますか？

**伴野様** お客様をはじめ、外部の方から声を掛けられるたびに、地球環境に配慮することは企業に対する社会からの要請であり責任なのだなと感じます。また、そのことに気付くきっかけとなりました。



トヨタカローラ静岡株式会社  
御殿場店  
静岡県御殿場市茱萸沢 1236-1

大簗：貴重なご感想をお聞かせいただきありがとうございました。今後共よろしくお願致します。



アオイネオン株式会社  
静岡本社 営業部 大簗真也

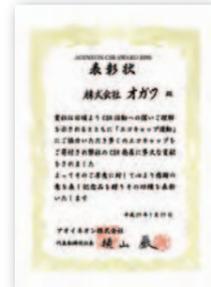
※1 第三者機関の証明書発行をご希望される際は有料



## 2 お取引先とのコミュニケーション

### 【ACA(アオイネオンCSRアワード)】

「ACA(アオイネオンCSRアワード)」は、CSRの意義と取り組みへの理解を社内外に広く浸透させることを目的とし、特に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、その功績をたたえ表彰する制度です。弊社従業員の投票により、本年度は活動当初から全事業所でエコキャップの収集活動に積極的にご協力くださっている(株)オガワ様を受賞しました。



株式会社オガワ  
代表取締役社長 小川 佳輝様

### Interview

この度は、表彰いただき大変光栄に存じます。この活動は、弊社が掲げる「地域貢献」の一環として実施し続けているものであります。各支店、工場など全従業員が同じ目標を持って取り組み、団体の活動として評価いただいた点を非常に嬉しく感じております。何事も継続していくことが大切です。今後もこの活動を継続するとともに、よりCSRの意識向上を全社として目指して参ります。この度はありがとうございました。

同じくエコキャップ運動にご協力いただいている、(有)清水様、ひょうたんや様、(有)増田塗装店様には、感謝状を贈呈させていただきました。



(有) 清水様



ひょうたんや様



(有) 増田塗装店様

## 3 CSR企業・NPO とのコミュニケーション

### 【工場見学の受入れ】

経営研修とCSR交流を兼ねて弊社静岡工場のネオン管製作現場を見学されました。



(株)ソーケン製作所様

### 【川崎異業種研究会】

事業承継をテーマとしたオープンセミナーにパネリストとして登壇させていただきました。



### 【CSRセミナー】

CSRJAPAN 主催のセミナーに登壇させていただきました。



### 【CSR企業交流会】

CSR企業支援やカーボン・オフセットなどの環境活動について意見交換やアドバイスをいただきました。



(株)Green prop様、(株)ATGREEN様

### 【千葉CSRサミット2015】

～ポスト2020を生き抜く力～

NPOと企業の協働をテーマとした分科会にパネリストとして登壇させていただきました。



### 【CSR経営導入塾】

中小企業のCSR経営を学ぶ塾です。企業、中小企業診断士、弁護士など様々な方が参加しています。



## 4 メディア・有識者とのコミュニケーション

### 【国内メディア】

新聞、雑誌各社より弊社のCSR活動を取材していただきました。



### 【海外メディア】

韓国紙「嶺南日報」様が「中小企業のCSRコミュニケーション」を取材に弊社に取材されました。



### 【ラジオ出演】

アマタホールディングス(株)「未来開拓者ラヂオ」、FMかわさき「ソーケン有吉のソーシャルライフ“本業ど真ん中”」に出演させていただきました。



## 5 学生とのコミュニケーション

### 【CSRをテーマとした地域産業実習】

地域の学生のCSRをテーマとした地域産業実習に協力しています。研究や論文の取材では弊社の事例紹介や企業のCSRについての意見交換をさせていただきました。



静岡県立大学 鈴木様



静岡県立大学 柳様



常葉大学の皆様

#### 感想 静岡県立大学 鈴木様

CSRに対する認識や御社の歴史、CSRレポート作成までの道のりや、作成後のコミュニケーション方法など、アオネオン様の多くのことを学ぶことができる良い機会となりました。

全体の内容としては、アオネオン様の行うことすべてがCSRにつながっている、という印象を受けました。特に、「違法看板をなくすために、リーダーシップをとって業界を良い方向に変えていこう!」といった姿勢が素晴らしいなと感じました。役所に届け出がなく点検されない看板が全体の7割を占める中、アオネオン様独自の看板ドクターや看板マネジャーのシステムを浸透していくことが、地域の安心・安全につながるのだと思います。

#### 感想 静岡県立大学 柳様

今回はヒアリング調査にご協力して頂き誠にありがとうございました。書ききれないほど多くのことを学ばせて頂き、非常に勉強になりました。

作成されたCSRレポート、HPはとても見やすく、CSRをあまり知らない人にも理解できるよう分かり易く可視化すること、顧客の同じ目線に立って伝える手段を工夫することの重要性を実感しました。CSRを上手く伝達できていない企業をみると、CSRレポートを作成するのみで、貴社のようにソーシャルメディアなど現代の情報発信手段が活用できていないと感じました。情報発信方法は日々変化していくため、顧客ターゲットに合わせて時代に応じたメディアを活用することが必要になると感じました。またアオネオンさんのCSRチャレンジの中で、「C・O・S」ビジネスが非常に印象的でした。CSRの取り組みをお客様である企業にとってのCSRに繋がる非常に素晴らしい取り組みだと思います。「BtoB」の企業がこうしたCSRを他社にも繋がる戦略的CSRが普及することで、より多くの企業が社会的課題解決に取り組むことができるのではないかと貴社の取り組みを通して思いました。

### 【インターンシッププログラム】

サイン業界の後継者育成に寄与することも業界のリーダーである当社の使命であるという考えのもと、学生の皆さんに「社会」や「仕事」について実体験を通じて理解を深めていただく機会としてインターンシッププログラムを実施しています。

東京都立城南職業能力開発センターの学生の方に弊社企画設計部でのサインのプレゼン資料制作や作図業務を5日間のインターンシップで体験していただきました。社員との交流機会もあり、学生ならではの新鮮な視点から私たちも学ぶ機会を得ています。



インターンシップ体験



いただいたお礼状

## 6 行政とのコミュニケーション

### 【静岡市CSRパートナー企業表彰制度】

静岡市が市内でCSRに取り組む中小企業を表彰する制度です。制度構築にご協力させていただき、表彰ロゴマークは弊社のデザインを採用させていただきました。



表彰ロゴマーク

### 【看板の安全チェック! in ゆりの木通り】 ～浜松まちあるき～

浜松市が主催する「看板の安全チェック in ゆりの木通り」に参加しました。商店街の方々、ビル管理、不動産、建設業など、およそ40名がグループに分かれ一緒に街歩きをしながら、看板の安全チェックをしました。



### 【ひょうご広告景観フォーラム】

兵庫県屋外広告美術協同組合主催のフォーラムで屋外広告物の現状と企業の社会的責任(CSR)について講演させていただきました。第二部では、屋外広告業者と行政による、広告主や市民を巻き込んだ屋外広告物適正化の啓蒙活動実現に向けての意見交換会が行なわれました。



## 7 従業員とのコミュニケーション

### 【RSP (リユース・スマイル・プロジェクト)】

「RSP (リユース・スマイル・プロジェクト)」は、社内コミュニケーションを目的としたCSR活動です。従業員が各家庭で不要になった衣類などを持ち寄り、社内のテイクフリーバザーでシェアします。残った品物はNPOを通じワクチンとして発展途上国に寄付します。

15箱 寄与  
(ワクチン 15人分)

静岡本社  
ダンボール：140cm × 4個

東京本社  
ダンボール：110cm × 11個



東京本社



静岡本社



社会的課題解決に貢献するための積極的な取り組み

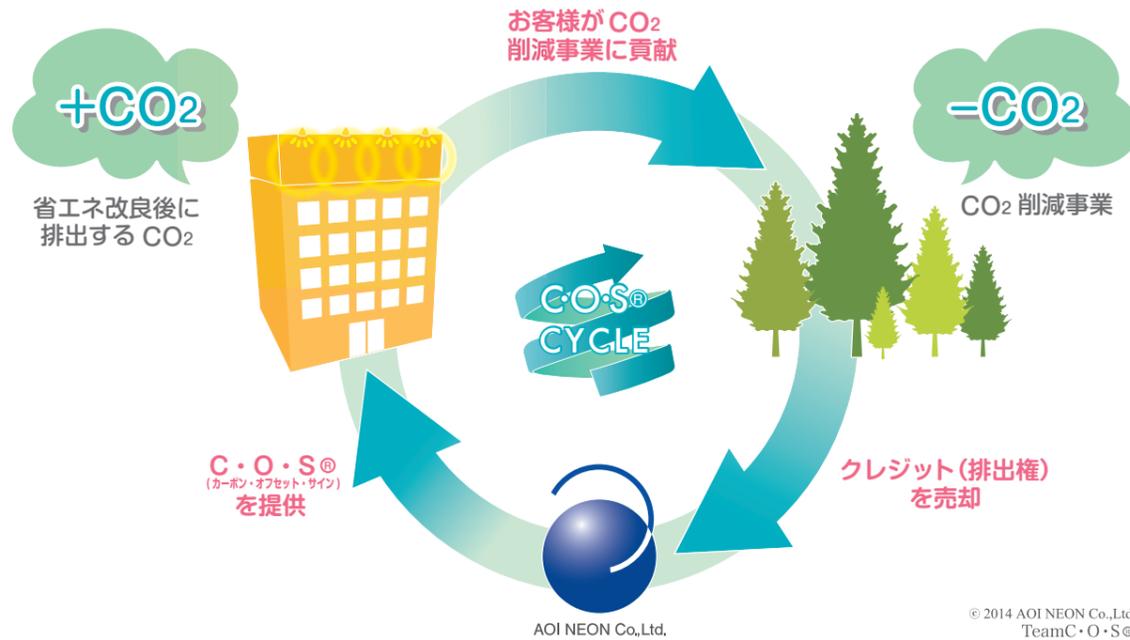
企業のブランディングを通じて、  
より貢献性の高い環境保全活動を実現します。



都市景観に配慮した看板の色や形態などのあり方を考えながら、“いかに環境負荷を下げていくか”を重視した製品づくりを通じて、お客様満足の上昇と社会的課題を解決することを目指しています。

## C・O・S® (カーボン・オフセット・サイン)

『省エネ × オフセット』で継続的な環境配慮を実感



看板は昼夜を問わず情報伝達機能を担っています。夜間は看板を点灯することで街並みを明るくし、都市の活性化や治安の維持にも役立っています。しかしながら、地球温暖化問題や震災後の節電の影響もあり、夜間の看板照明についても可能な限りの省エネが求められています。そこで、私たちは、看板照明にて街を彩りながらも、電力の使用を最小限に抑えううえで、それでも使用しなければならない電力を起源とするCO<sub>2</sub>をオフセット(相殺)するC・O・S(カーボン・オフセット・サイン)をお客様にご提案していきます。

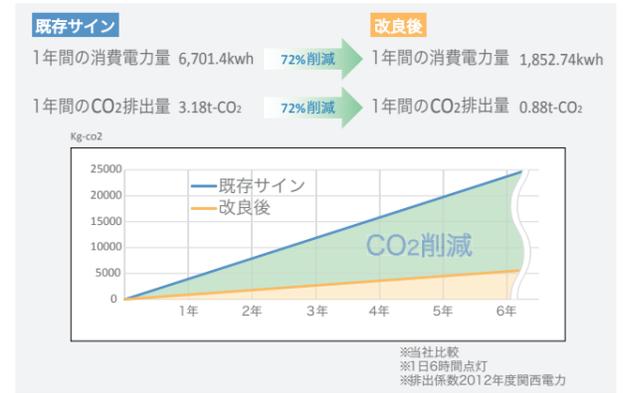
## 看板の省エネ改良

看板に使用する光源に省電力、長寿命のLED照明を採用し、省エネ設計で改良しました。

消費電力を大幅に削減します。



CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減します。



## 第三者によるカーボン・オフセットの証明

第三者機関より、カーボン・オフセット証明書を発行します

### CheckPoint

- 1 省エネに取り組んでいるか?
- 2 CO<sub>2</sub>の排出量が正しく算出されているか?
- 3 使用された排出権(クレジット)が正当なものか?



2015年4月より  
マークが新しくなりました。



### 第三者意見

静岡県地球温暖化防止活動推進センター アドバイザー  
静岡大学人文社会科学部教授(環境政策)

水谷 洋一 様

アオイネオン(株)さんの「C・O・S」(カーボン・オフセット・サイン)の取り組みは、私がアドバイザーを務めている静岡県地球温暖化防止活動推進センターから第三者認証を受けています。これは環境省が平成24年にカーボン・オフセット制度を創設し、その「実施規則」と「カーボン・オフセット第三者認証基準」を定めた2年前から

始まっており、まさに先駆的な取り組みでした。その後、平成26年までの累積オフセット量は1,400トンを超えており、「C・O・S」の取り組みは着実に進展しています。

アオイネオン(株)さんは今年11月にカーボン・オフセット推進ネットワーク主催「第5回カーボン・オフセット大賞」にて奨励賞を受賞なさいましたが、本当に遅すぎる受賞でした。「継続」こそ、真に賞賛に値する環境行動です。「カーボン・オフセットの老舗」=アオイネオン(株)さんの取り組みが、今後とも力強く「継続」されることを期待しています。



## ご採用事例【2015年新規ご採用】

### case 1 株式会社アイエス 様

期間：2015年6月11日～(5年間)



サイン新設時にLEDを採用  
看板点灯時のCO<sub>2</sub>排出量を削減  
省エネ改良後の排出CO<sub>2</sub>  
26t-CO<sub>2</sub>をオフセット

CO<sub>2</sub>排出ゼロ

### case 2 株式会社あさひ 様

期間：2015年9月1日～(3年間)



海老名店

中川店

店舗新設時にLEDを採用  
看板点灯時のCO<sub>2</sub>排出量を削減  
省エネ改良後の排出CO<sub>2</sub>  
12t-CO<sub>2</sub>をオフセット

CO<sub>2</sub>排出ゼロ



八幡東店

### case 3 トヨタカローラ静岡株式会社 様

期間：2015年7月10日～(10年間)



御殿場店

店舗新設時にLEDを採用  
看板点灯時のCO<sub>2</sub>排出量を削減  
省エネ改良後の排出CO<sub>2</sub>  
27t-CO<sub>2</sub>をオフセット

CO<sub>2</sub>排出ゼロ

## ご採用事例【既存・継続ご採用】

### case 4 株式会社河合楽器製作所 様

期間：2013年8月21日～(5年間)

リニューアルでLED採用により  
消費電力 約87% 削減

省エネ改良後の排出CO<sub>2</sub>  
11.07t-CO<sub>2</sub>をオフセット

CO<sub>2</sub>排出ゼロ



駅前屋上広告塔

### case 5 株式会社資生堂 様

期間：2010年5月21日～(6年目)

看板内部の反射効率を改善し、蛍光灯  
本数の削減により  
消費電力 約33% 削減

省エネ改良後の排出CO<sub>2</sub>(5年間累積)  
1,220t-CO<sub>2</sub>をオフセット

CO<sub>2</sub>排出ゼロ



チェーンストア看板

過去5年間のオフセット量

2010年:160t-CO <sub>2</sub> をオフセット	2011年:191t-CO <sub>2</sub> をオフセット	2012年:300t-CO <sub>2</sub> をオフセット
2013年:249t-CO <sub>2</sub> をオフセット	2014年:320t-CO <sub>2</sub> をオフセット	

### case 6 雪印メグミルク株式会社 様

期間：2011年4月15日～(5年間)

リニューアルでLED採用により  
消費電力 約91% 削減

省エネ改良後の排出CO<sub>2</sub>  
22t-CO<sub>2</sub>をオフセット

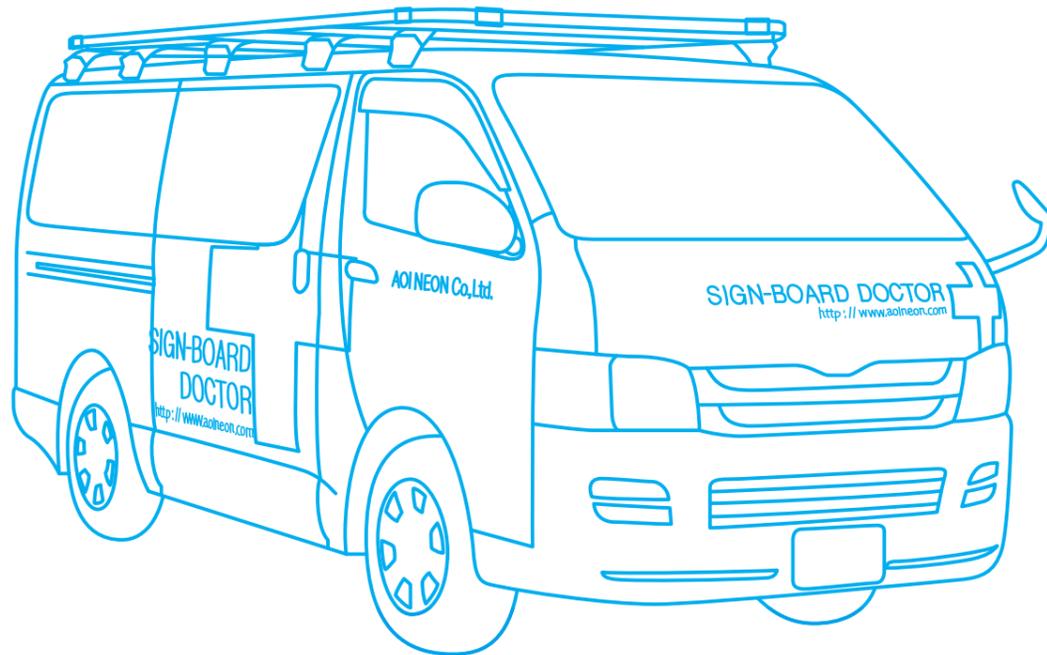
CO<sub>2</sub>排出ゼロ



本社屋上広告塔



「安全・安心」そして「適正」な屋外広告物で持続可能なまちづくりへ。



都市の景観を形成するうえで重要な柱のひとつであり、私たちの身近な情報伝達手段である屋外広告物。管理が適正になされていない看板や、著しく老朽化した看板は、私たちに危害を及ぼすこともあります。私たちはお客様に安心して看板を掲出していただき、景観形成と持続可能な街づくりに貢献できるサービスをご提供します。

## 看板診断システム『看板ドクター®』

屋外に設置されている看板は、長い間風雨に晒され、鉄部に錆が発生して腐蝕していきます。特に看板内部の腐食は、通常の目視調査だけでは発見できないケースが多く欠陥が判明したときにはすでに落下や倒壊事故が起きていたということも考えられます。

看板を長期的に良好な状態で維持する為には定期的にその現状を正確に把握する必要があります。

看板診断システム『看板ドクター』は、訓練された検査員が様々な検査機器や特許取得の検査方法によりお客様の看板を検査いたします。その結果、通常の見視調査に比べ調査の精度が格段に高くなり、看板の劣化状態や欠陥を早期に把握することが可能になります。



ドクターカー



検査員

## さまざまな検査機器と独自の検査システムでお客様の負担を軽減



- 内視鏡カメラスコープ
- 赤外線サーモセンサー
- マイクロスコープ
- 超音波厚さ計（超音波パルス反射方式）
- 引抜き耐力試験機
- 絶縁抵抗計（メガ）

### アンカードクター（アンカーボルト引抜き検査）

特許第3779722号 商標登録第503991号

既存アンカーボルトに特殊検査リングを装着し、締め付けることで発生するひずみを測定します。看板を取り外さずに引き抜き検査が可能です。



当社オリジナルの特許取得の検査システムで、より安全に短時間で検査し、お客様の負担を減らします。

## 8年間で3,500件8,000アイテムの実績

看板ドクター®で点検・診断したアイテムの中でいつ事故を引き起こしてもおかしくない危険な看板もありました。

私たちは看板ドクター®で点検・診断を行い、危険な看板を1つでも減らし安全に歩ける街づくりをサポートいたします。



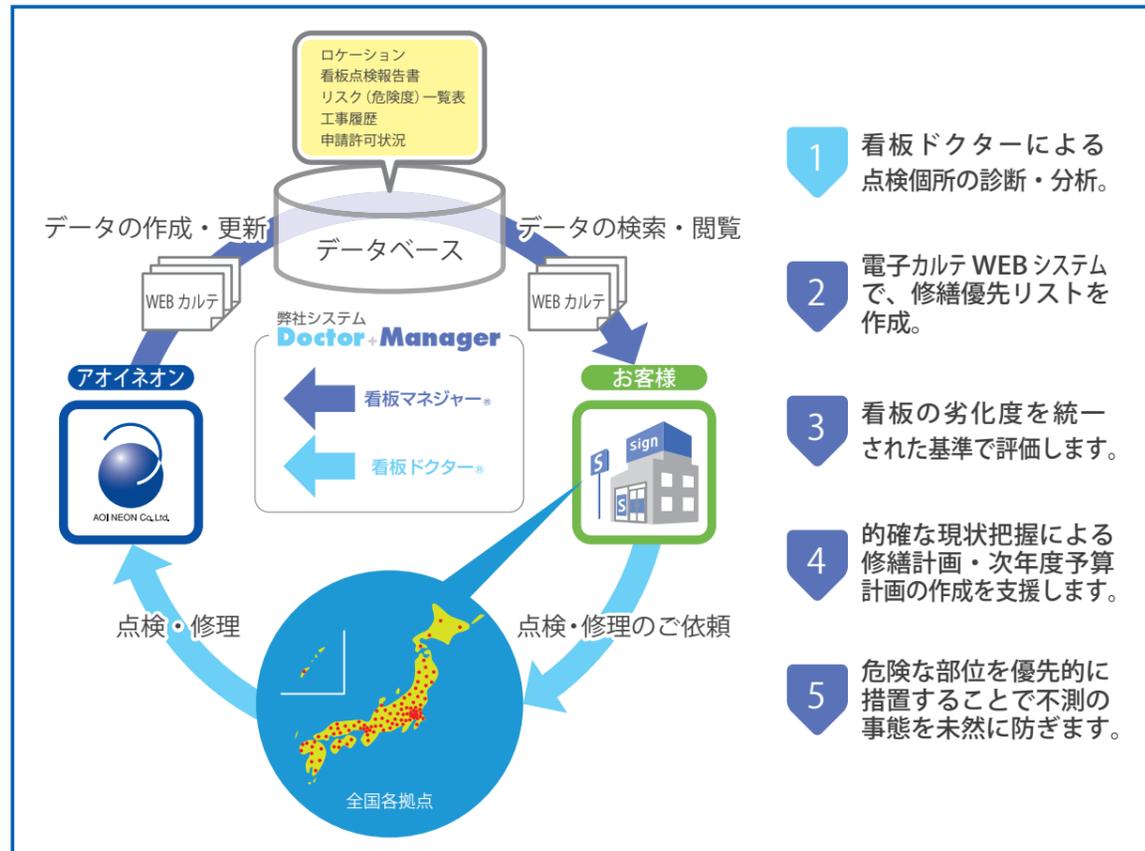
【点検実績代表例】

	アンカー	看板下端	ポール根元	屋上看板
危険				
要補修				
優良				



## 電子カルテ閲覧システム『看板マネジャー®』

看板の管理に特化したクラウド型の電子カルテ閲覧システムで、看板のリスク管理を支援する新しいサービスです。看板の劣化状況や法令の許可更新に関する情報基盤を確立し、スピーディーな情報共有を可能にするシステムです。



## 法令チェックを怠りません

適用される各種法令及び法令遵守状況を確認し適正な状態で看板掲出を維持します。

### 看板が道路上に突き出ていませんか？

突出看板の場合、敷地内から突き出る場合は「道路占用許可申請」の届出が必要です。  
(屋上看板の場合)  
**壁面より突き出ること自体がNG!**  
 他に、設置する高さの制限もあります。  
(道路法第32条より)

### 看板の高さは大丈夫ですか？

看板の高さが**4m**を超えた場合は「工作物確認申請」による構造の審査が必要です。  
(建築基準法第88条より)

### 看板の色合い・大きさは大丈夫ですか？

都道府県で定められた「屋外広告物条例」・「都市景観条例」によって届出が必要な場合があります。  
 地域によっては、色合い・大きさなどが制限されます。

### 防火地域の規制をご存知ですか？

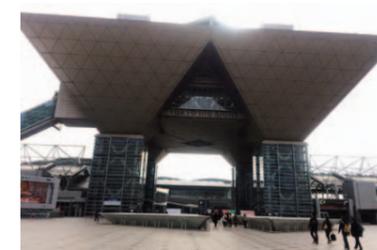
防火地域内にある看板、広告等で、建築物の屋上に設けるもの、又は高さ**3m**を超えるものは、**主要部分を不燃材料**で造るか、又は**不燃材料で覆わなければなりません**。  
(建築基準法第66条より)

※代表的な事例です。各自治体で定められた条例等により異なる場合があります。

## 「より多くの情報」を「より分かりやすく」、「誰にでも」

<p><b>物件一覧</b> 登録済みの物件を一覧表示。</p>	<p><b>リスク管理</b> アイテム別に危険度を一覧表示。</p>	<p><b>申請管理</b> 更新期限や手数料などの申請状況を一覧表示。</p>
<p><b>工事履歴</b> 物件に対する工事履歴を一覧表示。</p>	<p><b>ローケーション</b> 物件ごとに、アイテム写真の拡大表示、詳細の参照、更新が可能。</p>	<p><b>絞り検索</b> 絞り込み検索により、必要な情報を瞬時に閲覧可能。</p>

## 『不動産ソリューションフェア』出展



11月12日(木)、13日(金)東京ビッグサイトで開催された展示会「第17回不動産ソリューションフェア」に初出展いたしました。ブースとセミナーで弊社「D+M 看板診断管理サポートシステム」の「看板ドクター®」と「看板マネジャー®」サービスをご案内させていただきました。多くの皆様がブースやセミナーにお立ち寄りくださいまして誠にありがとうございました。



## 組織統治・公正な事業慣行

Organizational Governance · Fair Operating Practices

高い倫理観に基づいて行動することにより社会から信頼される企業であり続けます。

### Point

- ▶ アオイネオンの従業員全員が共通の価値・行動の基準で業務を遂行できるよう「倫理綱領（コンプライアンスマニュアル）」を制定しています。
- ▶ 全ての事業所において専任技術者を配置し、事業に必要な許可を取得しています。
- ▶ 『情報セキュリティ基本方針』のもと、情報資産保護・管理強化に取り組んでいます。
- ▶ 朝礼・月例報告会・方針発表会など定期的に事業の状態や方向性を従業員と共有する場を設けています。

## コンプライアンス方針に基づく企業活動の推進

### コンプライアンス方針（2004年12月制定）

#### 1 法令・ルールを守り、地域社会に貢献しよう

私たちは顧客、取引先、株主等を含む幅広い社会との健全で良好な関係を維持するとともに法令や社会的規範社会的良識に基づいた企業活動を行い、地域社会発展の一翼を担います。

#### 2 お客様に喜ばれる努力をしよう

私たちはお客様がサインに期待する情報伝達機能を確実に果たすと同時に、お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性の確保を実現します。

#### 3 みんなで創ろう笑顔のある職場

私たちはすべての人々の人権を尊重します。また一人ひとりが互いに信頼できる健全な職場環境をつくります。

#### 4 一人ひとりの心がけ健康づくり安全作業

私たちは社員一人ひとりが心身ともに健康で、安全に働くことができる、事故や災害のない職場づくりを目指します。

## 「企業倫理に関する方針」「行動規範」の制定

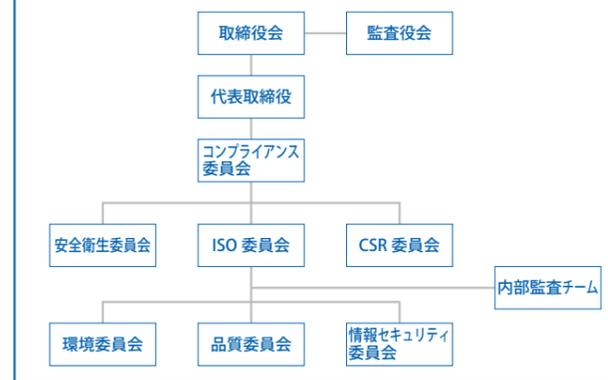
当社では2005年に「コンプライアンス方針」を制定し公正かつ適切な経営を実現し、企業市民として社会的責任を果たすことに取り組んできました。また、コンプライアンスの徹底には、一人ひとりが、自らの行動をコンプライアンスの観点から確認して、業務に取り組むことが必要です。CSR委員会を中心に論議を重ね、行動規範を定めた「倫理綱領」を作成し全従業員に配布するとともに教育を実施し、CSR経営の重要性和、その土台となるコンプライアンス意識の浸透を図りました。



倫理綱領（コンプライアンスマニュアル） 第二版

## 社内体制

### 〈ガバナンス体制図〉



1. CSR委員会：社内へのCSR取り組み方針や施策などの浸透を図るとともに、CSRへの取り組みに関する企画立案、関係部署への提言、計画の進捗管理、CSR関連情報の収集と社内外への情報発信などを行う。
2. コンプライアンス委員会：コンプライアンス体制の構築、方針の維持・管理を行う。法令遵守状況の定期的なモニターと法令遵守施策の審議、諸問題に対する部門横断的な観点での検証、社員に対する教育、啓蒙活動を行う。
3. ISO委員会：環境・品質・情報の3部門からなり、ISOマネジメントシステムの方針及び目標の維持・管理を行う。

## 経営方針発表会

アオイネン経営方針と中長期の戦略への取り組みについて全従業員が共通の認識を持てるように毎年、経営方針発表会を開催しています。



東京本社

## CSR委員会

CSRを推進する組織としてCSR委員会を設置しています。CSRの目標と計画について全社横断的に連携をとるため、東京・静岡・大阪・福岡の各事業所より選抜されたCSR委員が中心となり、計画の策定から進捗管理まで主体的に動ける体制を構築しています。

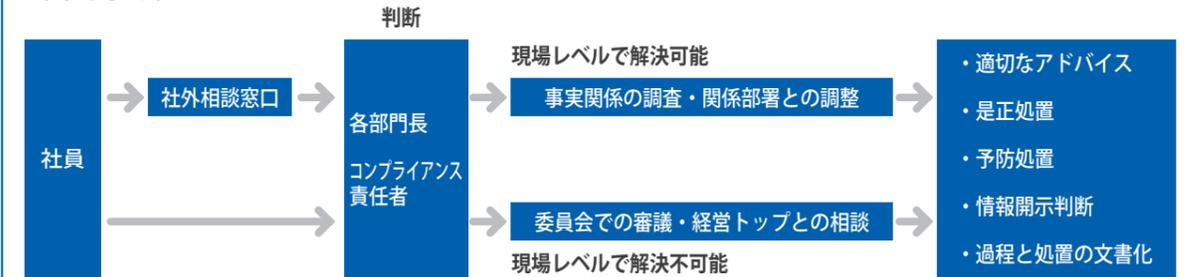


TV会議による4事業所でのCSR委員会

## 報告・相談への対応の流れ

コンプライアンス責任者、各部門長は、適宜、社員からの相談に応じ、適切なアドバイスを与える。また、倫理綱領や各種法令遵守から逸脱する行為があるとの報告を受けた場合、以下により対応する。

### 〈対応手順〉





## ライセンスレポートによるご説明

お客さまに安心してご発注して頂くために、工事に必要な許認可や資格について事前にご説明しております。  
また、「ライセンスレポート」により弊社の許認可取得状況、専任技術者、有資格者の有無についてもご確認いただけます。



ライセンスレポート「建設業許可」編、「屋外広告業」編

## 建設業許可と専任技術者

個人・法人などの形態や、商社・代理業などの業種を問わず、500万円以上の建設工事を請負う場合は、本社・支店・営業所など全ての拠点で建設業許可が必要です。建設業許可には、28種の業種があり、工を行なう場合、その物件の主要な部分に該当する建設業許可が必要となり、該当する種類以外の建設業許可では、業務を行なえません。

アオイネオンでは、本社支店全ての事業所で、以下の建設業許可を取得しており専任技術者を常駐させています。

### 建設業許可一覧

建設業の種類	広告業として請負いする工事内容	建設業の許可番号
鋼構造物工事業	鋼材を加工又は組立し工作物(広告物本体)を築造する工事	特-24 第19713号
内装仕上工事業	館内サインを設置する工事	
建築工事業	建築工事業全般	般-24 第19713号
とび・土工工事業	工作物(広告物)の基礎工事 足場の組立工事 工作物の解体工事 重量物の運搬設置	
塗装工事業	塗装を工作物(広告塔の鉄骨など)に塗付する工事 フィルムシートや出力シートなどを広告物に貼付けする工事	般-24 第19713号
電気工事業	電材を設置又は取替えする工事 (ネオン管、LED照明、投光器など)	
板金工事業	広告塔等の表示板面の取替え工事 チャンネル文字の設置や取替え工事	般-24 第19713号

### 技術者 (静岡・東京・大阪)

一級建築士	1名
二級建築士	4名
一級建築施工管理技士	8名
二級建築施工管理技士	9名
二級電気工事施工管理技士	5名

2015年11月 現在

## 屋外広告業の登録

### ●全国111ヶ所全ての都道府県、政令市、中核市で屋外広告業の登録済

屋外広告を施工する者は、工を行う場合の自治体への登録がなければ、施工ができません。元請、下請に関わらず全ての業者に登録が義務付けられており、建築工事などの一部として屋外広告を設置する業務を請け負った場合でも登録が必要で、弊社では、すべての地域において各事業所ごとに業務主任者を専任し登録が完了しております。

### ●各事業所に在籍する屋外広告士 (静岡・東京・大阪) 22名

※その他、各事業所に屋外広告物講習会修了者(8名)が在籍しております。 2015年11月 現在

## 東京本社 ISO27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) 認証取得

東京本社では2015年2月に国際規格であるISO27001の認証を取得いたしました。  
今後はより適切な情報資産の取り扱いの実現を図り、情報セキュリティの一層の向上に努めます。



## 情報セキュリティ基本方針

### 情報セキュリティ基本方針 (2010年9月制定)

#### ① 目的

当社は情報を的確に伝えるサイン、お客様の心が伝わるサインを造り続けること、それを経営理念として「心、情報、光にカタチに」のキャッチフレーズに込めています。当社は屋内外における情報伝達メディアであるサインの製作にあたり、取り扱う情報資産の適切な保護対策を実施する事により、お客様の信頼確保及び事業損失を最小限に留めることを目的として、この「情報セキュリティ基本方針」を定めます。  
私たちは、ISO27001に準拠した「情報セキュリティマネジメントシステム」を構築し、お客様からお預かりした情報をはじめ、当社が取り扱う情報を重要な資産として保護・管理する事でセキュリティに関するインシデント(事件・事故)の防止を図ります。

#### ② 情報セキュリティの定義

情報セキュリティとは、機密性、完全性及び可用性を確保し維持することをいう。

- (1) 機密性：情報を漏えいや不正アクセスから保護すること。
- (2) 完全性：情報の改ざんや間違いから保護すること。
- (3) 可用性：情報の紛失・破損やシステムの停止などから保護すること。

#### ③ 適用範囲

【組織】：アオイネオン株式会社

【業務】：サインボード並びにそれに付随する銘板の設計、建設、据付、メンテナンス及びサインボードの検査、診断業務

【資産】：上記業務、サービスに関わる書類、データ、情報システム

#### ④ 実施事項

- (1) 適用範囲の全ての情報資産を脅威(漏えい、不正アクセス、改ざん、紛失・破損)から保護するための情報セキュリティマネジメントシステムを確立、導入、運用、監視、見直し、維持及び改善するものとする。
- (2) 情報資産の取り扱いは、関係法令及び契約上の要求事項を順守するものとする。
- (3) 重大な障害または災害から事業活動が中断しないように、予防及び回復手順を策定し、定期的な見直しをするものとする。
- (4) 情報セキュリティの教育・訓練を適用範囲すべての従業員に対して定期的実施するものとする。

#### ⑤ 責任と義務及び罰則

- (1) 情報セキュリティの責任は、代表取締役が負う。そのために代表取締役は、適用範囲の従業員が必要とする資源を提供するものとする。
- (2) 適用範囲の従業員はお客様情報を守る義務があるものとする。
- (3) 適用範囲の従業員は、本方針を維持するため策定された手順に従わなければならないものとする。
- (4) 適用範囲の従業員は、情報セキュリティに対する事故及び弱点を報告する責任を有するものとする。
- (5) 適用範囲の従業員が、お客様情報に限らず当社が取り扱う情報資産の保護を危うくする行為を行った場合は、社員就業規則に従い処分を行うものとする。

#### ⑥ 定期的見直し

情報セキュリティマネジメントシステムの見直しは、環境変化に合わせて定期的に実施するものとする。

## 環境 Environment

地域環境の保全は21世紀を生きる企業の使命です。

### Point

- ▶ ISO14001 に従って外部審査員による環境監査と、社内監査員による定期監査を実施し、環境マネジメントシステムの適正な運用に努めています。
- ▶ 事業所ごとに環境計画を策定し、従業員の意識向上と環境活動の改善を図っています。
- ▶ ESG 問題など、環境と社会・企業との関係を認識して行動出来るように従業員への教育・啓発を定期的に行っています。

### 環境マネジメントシステムへの取り組み

当社が環境保全に関わる活動を推進するに当たり、環境に関連する方針や目標を設定し、これらの達成に向けて取り組んでいます。  
ISO14001規格に従い環境マネジメントシステムを運用し、定期的に外部審査、内部監査を実施しています。外部審査では毎年の定期審査、3年毎の更新審査でシステムの適合性と有効性の審査を受けています。



外部審査機関による審査の様子

### 社内教育の実施



環境のみならず、ESG問題といった環境、社会、企業との関係をCSRとして理解することで、従業員が自ら果たすべき役割を認識して行動できるように教育・啓発を行っています。

### TV会議を採用 CO<sub>2</sub>排出削減



出張経費の削減にとどまらず、人の移動に関わるCO<sub>2</sub>排出量の削減や、会議資料電子化による紙資源の利用低減を目的とし、テレビ会議を採用しています。

### しずおか未来の森サポーター



静岡県の豊かな森づくりをサポートする団体として「しずおか未来の森サポーター」に認定されています。

「ふじのくに森の町内会」の紙を使うことにより、林地に捨てられる間伐材を資源として活用するのに協力しています。

『間伐に寄与する紙』使用量  
2015年までの累計：956.5kg  
※2015年11月現在

※CSRレポート2014年版でC・O・S営業用パンフレットの使用量に誤りがありました。  
×110.00kg→○38.25kg

### アオイネオンの環境方針

アオイネオンは2001年に「環境問題改善プロジェクト」をスタートさせ、「アオイネオン環境方針」のもと環境保全活動に着手しました。また2009年には国際環境規格ISO14001を全事業所・工場で認証取得するなど、事業活動に伴い発生する様々な環境負荷の低減に向けた取り組みを進めてきました。今後も「全ての事業決定において環境に配慮する」という新たな方針のもとさらに積極的な取り組みを進めていきます。

#### アオイネオンの環境方針 (2001年6月制定 2005年8月改訂)

当社は屋内外における情報伝達メディアであるサインの製作にあたり、すべての事業決定において地球環境への配慮を実現し、社会的責任を果たすことを目指します。そのために環境マネジメントシステムを継続的に改善し、汚染の予防と環境パフォーマンスの向上に努めます。また、環境関連法令、その他の要求事項を遵守し、地域社会との協調に努めます。  
この方針は組織のために働くすべての人に周知し、広く一般に開示します。



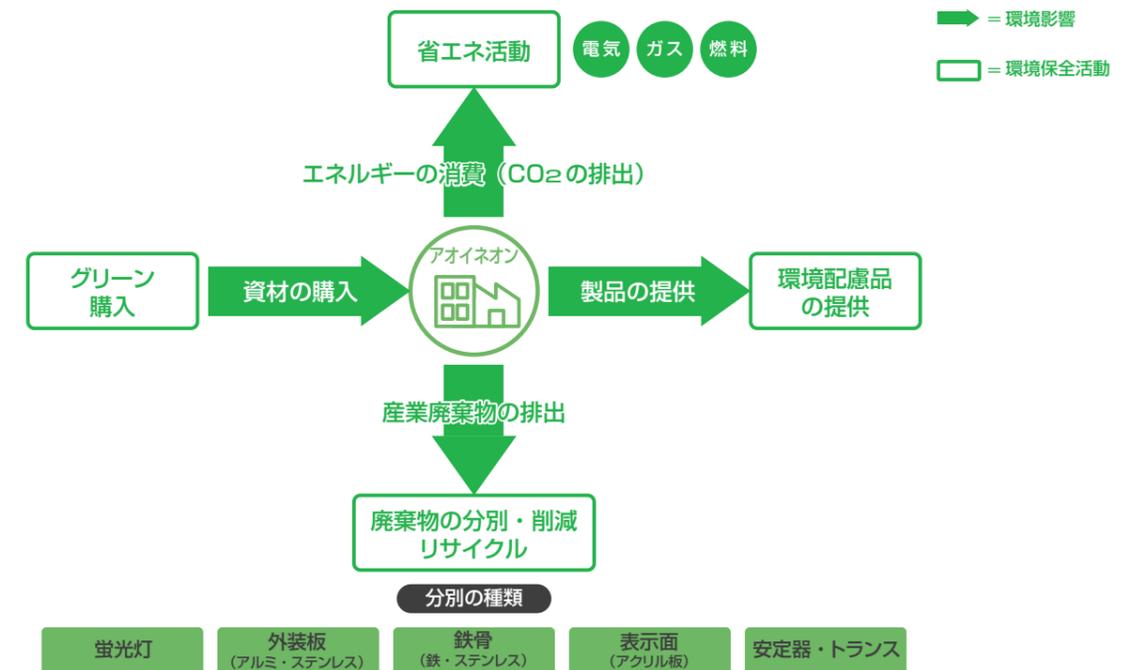
東京・静岡・大阪（事業所・工場）でISO14001の認証を取得しています。

特に下記項目を環境目的として取り組んでまいります。

1. 資源・エネルギーの節減
2. グリーン購入の推進
3. 産業廃棄物の削減

### 主な環境影響と保全活動

製品を製造しお客様に提供するまでに、資源やエネルギーの消費、産業廃棄物の発生やCO<sub>2</sub>の大気への排出など環境に負荷を与えています。私たちは事業活動にともなう環境への負荷を正しく認識し、持続可能な地球環境のために省エネ・省資源、廃棄物削減などの環境保全活動を推進していきます。



※グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入すること



## 2014年度 環境目標に対する実績

日々の活動から可能な限り環境への負荷を低減させるため、環境目標を明確化するとともに、目標に定量性を持たせています。未達成の項目に対しては改善目標を設定し具体的な対策を講じます。目標達成した項目も合わせ継続的な環境負荷の低減に取り組んでいます。

【静岡本社】 期間：2014年8月～2015年7月（1年間）

項目	基準年	目標値	実績値	評価
産業廃棄物削減 ① 産業廃棄物の削減 (産廃処分量/工事売上 100万円)	2013	0.183 m <sup>3</sup>	0.18 m <sup>3</sup>	◎
資源・エネルギー 使用量の削減 ① CO <sub>2</sub> 排出量の削減 (電気・ガソリン・軽油・ガス・水道使用量)	2013	102.8 t-CO <sub>2</sub>	92.4 t-CO <sub>2</sub>	◎
グリーン購入の推進	① 照明に LED を使用した製品を提供する (LED 照明使用物件数/照明有りの物件数)※ネオン除く	2013	93%	×
	② C・O・S <sup>®</sup> (カーボン・オフセット・サイン)の提案 (提案件数/照明有りの物件)	2013	80%	×
法規制の遵守 ① 環境法規制及びその他の要求事項の順守	—	—	—	◎

【東京本社】 期間：2014年8月～2015年7月（1年間）

項目	基準年	目標値	実績値	評価
産業廃棄物削減 ① 産業廃棄物の削減 (産廃処分量/工事売上 100万円)	2013	0.084 m <sup>3</sup>	0.066 m <sup>3</sup>	◎
資源・エネルギー 使用量の削減 ① CO <sub>2</sub> 排出量の削減 (電気・ガソリン・軽油・ガス・水道使用量)	2013	38.6 t-CO <sub>2</sub>	33.9 t-CO <sub>2</sub>	◎
グリーン購入の推進	① 照明に LED を使用した製品を提供する (LED 照明使用物件数/照明有りの物件数)※ネオン除く	2013	60%	◎
	② C・O・S <sup>®</sup> (カーボン・オフセット・サイン)の提案 (提案件数/照明有りの物件)	2013	60%	◎
法規制の遵守 ① 環境法規制及びその他の要求事項の順守	—	—	—	◎

【大阪支店】 期間：2014年8月～2015年7月（1年間）

項目	基準年	目標値	実績値	評価
産業廃棄物削減 ① 産業廃棄物の削減 (産廃処分量/工事売上 100万円)	2013	0.151 m <sup>3</sup>	0.067 m <sup>3</sup>	◎
資源・エネルギー 使用量の削減 ① CO <sub>2</sub> 排出量の削減 (電気・ガソリン)	2013	16 t-CO <sub>2</sub>	13.7 t-CO <sub>2</sub>	◎
グリーン購入の推進	① 照明に LED を使用した製品を提供する (LED 照明使用物件数/照明有りの物件数)※ネオン除く	2013	70%	◎
	② C・O・S <sup>®</sup> (カーボン・オフセット・サイン)の提案 (提案件数/照明有りの物件)	2013	100%	◎
法規制の遵守 ① 環境法規制及びその他の要求事項の順守	—	—	—	◎

## 環境会計

アオネオンでは環境会計を、環境経営の定量的指標のものさしとして捉え、環境保全活動に関わる投資額や費用額、また環境保全効果や経済効果を把握して評価することにより、効果的な取り組みを図っています。

【環境保全コスト】

2014年度の環境保全コストは投資、費用あわせて4,377,270円を投入しました。 (円)

分類 (注1)	投資額 (注2)	費用 (注3)	事例
地球環境保全、公害防止コスト	0	698,352	浄化槽点検清掃、作業環境測定値他
資源循環コスト	0	2,031,101	廃棄物処理委託、省資源
管理活動コスト	0	1,577,817	環境教育、廃棄物管理、保管庫、書籍他
社会活動コスト	0	70,000	地域貢献
環境損傷対応コスト	0	0	なし
合計	0	4,377,270	

(注1) 環境省「環境会計ガイドライン」における環境保全コストの分類  
 (注2) 投資額とは環境保全を目的とした設備投資  
 (注3) 費用には環境保全活動に費やした維持運営管理費等が含まれます。

対象期間：2014年8月1日～2015年7月31日  
 対象サイト：静岡本社、東京本社、大阪支店、福岡営業所  
 参考書：環境省環境会計ガイドライン他

【環境保全効果】

効果については事業実績に対する削減量を基準として前年度より環境負荷がどれだけ改善されたかを捉えています。産業廃棄物に関しては0.1 m<sup>3</sup>の増加、電気使用量に関しては4,287kwhの増加、燃料消費量に関しては3,677リットルの削減となり、経済効果としては404,131円となりました。

内容	削減効果				経済効果	
	※1 2013年度	※2 2014年度	削減量	単位	内容	金額(円)
産業廃棄物の削減	141.8	141.9	▲0.1	m <sup>3</sup>	分別による削減	▲1,000
事業所内使用電力量の削減	161,085	165,372	▲4,287	kwh	節電による削減	▲72,879
燃費消費量の削減	32,756	29,079	3,677	リットル	エコドライブによる削減	478,010

※1 2014年度事業実績に換算した値 ※2 2014年度実績

## 人権・労働慣行

Human Rights · Labor Practice

### 安全で快適な職場環境づくり

**Point**

- ▶ 定期的実施状況の評価し、フォロー・改善を実施する事で安全衛生水準の向上を図っています。
- ▶ 災害時に可能な限り円滑な活動が行えるよう、総合的な防災対策を実施しています。
- ▶ 社員一人ひとりの人格や個性を尊重しつつ、豊かさや達成感が実感できるような人事制度や労働条件の維持向上に努めています。

### 安全衛生委員会 2014 年度目標と結果

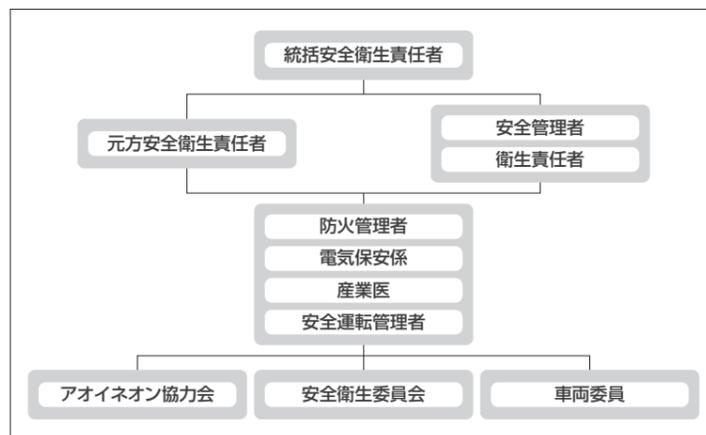
当社における労働災害は、長年にわたる安全活動のなかで低減してきています。継続的な改善を目指すため、安全衛生目標を設定し、当該目標において一定期間に達成すべき到達点を明らかにし目標達成の度合いを客観的に評価できるようにしています。

残念ながら達成出来なかった目標については、原因を究明し次年度の改善に結びつけます。

	2014 年度目標	施策	2014 年度結果
交通事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重大な事故発生件数 0 件</li> <li>● 軽微な事故発生件数 2 件以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 過去 3 年間に事故を起こした社員を対象に教育を実施する。</li> <li>▶ 事故発生後、委員会で原因を究明、対策を検討、実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重大な事故発生件数 0 件</li> <li>● 軽微な事故発生件数 3 件</li> </ul>
物損・労働災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重大な事故発生件数 0 件</li> <li>● 軽微な事故発生件数 4 件以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 過去 3 年間に事故を起こした社員を対象に教育を実施する。</li> <li>▶ 事故発生後、委員会で原因を究明、対策を検討、実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重大な事故発生件数 0 件</li> <li>● 軽微な事故発生件数 2 件</li> </ul>

期間：2014 年 8 月 1 日～2015 年 7 月 31 日  
対象：全拠点

### 安全衛生委員会の主な活動と組織体制



- 安全衛生委員会 毎月 1 回
- 安全パトロール 毎月 1 回
- KY (危険予知) ミーティング 現場作業開始前
- 産業医工場巡視 毎月 1 回
- 作業環境測定 年 2 回

### アオイネオン安全大会

協力会社の皆様と弊社従業員と一緒に、より安全な職場、事故の無い現場の実現に取り組むためのコミュニケーションの場として『アオイネオン安全大会』を開催しています。



11 月 16 日 福岡営業所

### 熱中症対策

今年の夏、『熱中症対策セット』を静岡本社 4 セット、東京本社 2 セット導入しました。猛暑の中、施工現場や工場内で作業する従業員の熱中症防止のため塩熱飴を常備しています。



熱中症対策セット



塩熱飴

### 安全パトロール



KY (危険予知) ミーティング

定期的に各工事現場のパトロールを行っています。毎日の作業開始前のKY(危険予知)ミーティングと合わせて作業現場での安全確認を怠りません。

### 作業環境測定



ネオン室空気汚染測定

労働安全衛生法により、有害な業務を行う屋内作業(粉じん・騒音・有機溶剤などの作業)について、作業環境測定を行う義務が課せられています。

### 緊急事態への対応

火災や大規模地震などの緊急事態が発生した場合に備え、防災体制を定め運用しています。定期的な防災訓練及び防災設備の点検を実施し、緊急事態発生時に人的安全の確保及び円滑な防災活動を行えるように体制を整えています。



9 月 28 日 東京本社



9 月 4 日 大阪支店



**Interview**

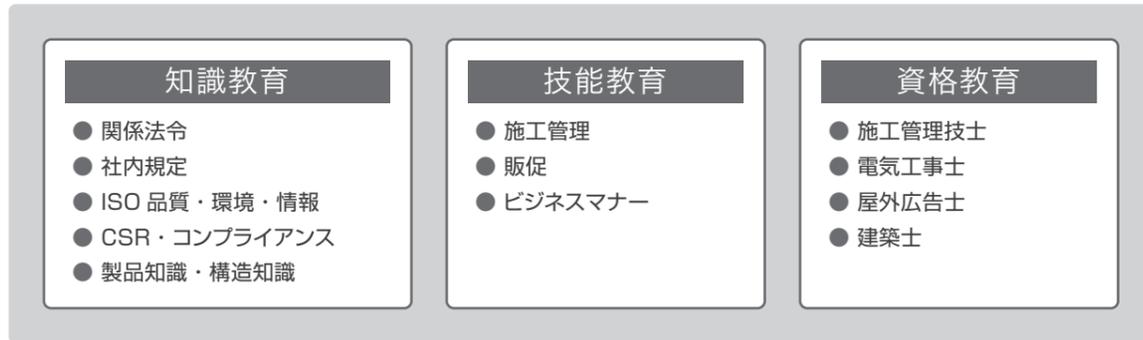
福岡営業所 的場 淳二

福岡営業所の工事は 100% 製作・工事を協力業者様に依頼しております。製作・施工管理・安全管理等は任せっぱなしとはいきません。管理するには知識・能力・スキルが無いと出来ません。その為には私自身の知識等を常に上げていくために勉強・資格取得に励みたいと思っています。

## 人材育成の考え方

多様な個性を持つアオネオンの社員一人ひとりが、共通の価値観を持ち、事業そして社会に貢献できる人材に成長するため、様々な能力開発の機会提供に努めるとともに、公平・公正に評価される制度づくりに取り組みます。

人材教育の仕組みである「資格・教育プロジェクト」は、ビジネスパーソンとしてのベース・共通能力の育成、幅広い専門能力の育成、自己啓発支援等のプログラムで構成されています。



## 「資格取得支援制度」で社員のプロフェッショナル化を支援

アオネオンは、社員一人ひとりがお客様により付加価値の高いサービスを提供できる“プロフェッショナル”となることを目指しています。その実現に向けた社員各人の自主的取り組みを支援する為、対象資格取得に成功した社員に受験費用の援助や報奨金を支給する「資格取得支援制度」を導入しています。現在、資格取得が業務に役立つと認定された48種類の資格取得を奨励しており、その取得難易度や業務への貢献度により支給額を設定しています。この制度が一層の自己研磨に励む刺激となり、多くの社員が資格取得に挑戦しています。

主な資格		
一級建築士	一級電気工事施工管理技士	あと施工アンカー第一種施工士
二級建築士	二級電気工事施工管理技士	あと施工アンカー主任技士
一級建築施工管理技士	第一種電気工事士	
二級建築施工管理技士	第二種電気工事士	
屋外広告士	ネオン工事士	

## CSR 検定



第一回「CSR 検定」に当社からは3名が合格しました。今後、地域のCSRリーダーとしてさらに活躍します。

## 静岡市女性の活躍応援事業所表彰

「平成25年度 静岡市女性の活躍応援事業所表彰」特別賞を受賞いたしました。

表彰式では、社内外の相談窓口の設置やCSRアワードなどの表彰制度、資格取得支援の充実、社内のハラスメント防止セミナーなどの活動が男女を問わず働きやすく、イキイキと活躍できるダイバーシティの取組みとして紹介されました。



## 基本的人権の尊重に対する取り組み

<h3>人権の尊重に関する方針</h3> <p>アオネオンは社員一人ひとりの人格や個性を尊重しつつ、豊かさや達成感が実感できるような人事制度や労働条件の維持向上を目指しています。「アオネオン倫理綱領（コンプライアンスマニュアル）」では、法令順守はもとより、基本的人権を尊重し、あらゆる差別的取り扱いを受けない健全な職場環境を確保すること、問題発生時には迅速に調査し、被害者の救済と再発防止に向けた断固とした処置をとることを行動規範として明示しています。</p>	<h3>個人情報の保護</h3> <p>個人情報については、利用目的ごとに同意を得て取得・利用し、総務部門を中心に厳重に管理しています。コンピューターウイルスや不正アクセス等による情報の漏洩を未然に防ぐため、個人情報を扱う上で人権の尊重、安全への配慮に基づいた情報モラルの向上を図っています。</p>
<h3>ハラスメントの防止</h3> <p>アオネオンでは「アオネオン倫理綱領（コンプライアンスマニュアル）」で、役員・従業員の行動規範として、個人の多様な価値観・個性・プライバシーを尊重し、人種・宗教・性別・心身障害・年齢などに関する差別的言動や、暴力行為、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントを認めないことを定めています。</p>	<h3>人権を尊重する為の教育</h3> <p>CSR委員会が中心となって「アオネオン倫理綱領（コンプライアンスマニュアル）」を全社員に周知徹底しています。入社教育のみならず、年間教育プログラムにも自覚教育として組み込み、従業員への人権尊重意識の浸透を図っています。</p>

## ワーク・ライフ・バランスの推進

<h3>【働き方の見直し】</h3> <p>従業員一人ひとりが「より少ない時間で高い成果を生み出せる」環境を整えることは、企業にとって重要な取り組みです。業務改善や自己研鑽により創出した時間を更にインプットの時間として有効活用する、といった好循環を生み出し、仕事の生産性や質の向上につなげていくことが必要です。週1日『ノー残業デー』を設定し時間外労働の削減に努めています。</p>	<h3>【社内ハラスメント防止セミナー】</h3> <p>静岡本社にて『職場におけるハラスメントの防止』をテーマとしたセミナーを開催しました！グループワークでのケーススタディでは、様々な意見が飛び交い、働きやすい職場づくりの視点にたった慣行の見直しが行われました。</p> <p>ご協力：静岡市生活文化局 男女参画・市民共同推進課 講師：公益財団法人 21世紀職業財団 木内育代 様</p>
--	---

## お客様への対応（消費者課題）

Consumer Issues

### Point

- ▶ 東京・静岡・大阪の事業所・工場で ISO9001 の認証を取得しています。
- ▶ 内部監査と外部監査を定期的に行い品質保証体制の維持・改善を継続的に進めています。
- ▶ 「資格・教育プロジェクト」により、しっかりと知識や技能を備えた人材育成注力しています。
- ▶ ネオン管の加工技術を次世代に承継する「ネオンマイスター」の技能をお客様のために役立てます。

### 品質管理に関する監査



内部監査（東京本社）

アオイネオンでは「お客様が満足する品質」を実現し続けるために、定期的に社内の監査チームによる内部監査及び社外の審査機関による外部監査を実施しています。監査の対象は、企画設計部門や製造部門に加え営業部門などが該当し、全事業所と工場を含んでいます。監査で発見された不適合は、品質管理責任者から経営層に報告され、業務の改善につながっています。

### ネオンマイスター



公社）全日本ネオン協会『ネオンマイスター顕彰』は日本の誇るべきネオン管加工技術を守り、次世代に承継することを目的として、ネオン管曲げ加工技術者に「マイスター」の称号を付与し、その技術を顕彰しています。現在、全国で 144 名、弊社では 2 名の技術者が顕彰され「マイスター」の称号を授けられました。

### 『資格・教育プロジェクト』による人材育成

従業員（委託・パートを含む）に対し、会社の業績・知名度向上への貢献、国家資格等の専門能力が求められる資格を取得した社員を対象とした表彰制度があります。表彰制度を行うことで、会社と社員との信頼感、指導や教育によって改善することが出来ない自発的な意欲を高めることを目的としています。

本年度 3月に東京本社 3名が「二級建築施工管理技士」ならびに「一級建築施工管理技士」に合格しました。



### アオイネオンの品質方針

お客様に安全な製品を提供していくためには、製品の品質を管理するための仕組みの整備が不可欠です。当社では創業以来、独自の品質管理の仕組みを構築してきました。その仕組みをさらに強化するために 2001 年に品質方針を制定し、2009 年には全事業所で品質管理システムの国際規格である ISO9001 の認証を取得しました。また、外部審査機関による監査や社内での専門の担当者が各事業所の品質管理状態を確認する品質監査を毎年実施しています。この品質監査の機会を通じて、各事業所における品質改善事例の水平展開をおこない、全社を通じた品質の向上につながっています。

#### アオイネオン品質方針（2001年8月制定 2007年8月改訂）

##### 『アオイネオン株式会社の経営理念』

### 心、情報、光にカタチに

#### 基本方針

1. お客様がサインに期待する情報伝達機能を確実に果たします。
2. お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性を確保します。

私たちは「製品の品質」に加え「顧客満足」を重要視した「組織の質」の向上を実現するために、絶えず改善を続けます。

#### 品質目標

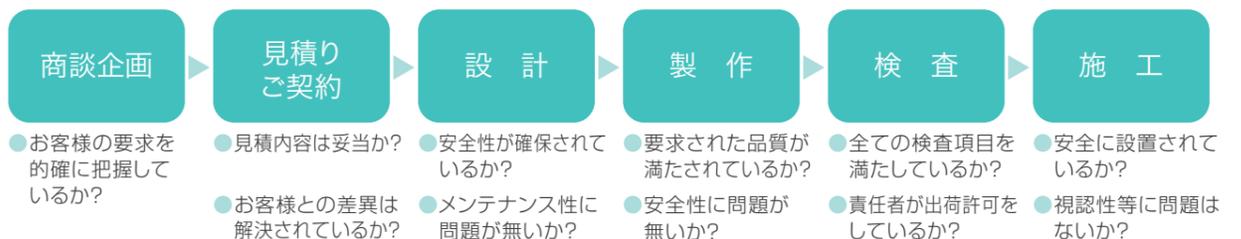
1. お客様満足度の向上
2. 高品質の製品づくり
3. 安全性と耐久性の確保
4. シェアの拡大



東京・静岡・大阪（事業所・工場）で ISO9001 の認証を取得しています。

### すべてのプロセスでの品質保証を徹底

アオイネオンの工場で製造される製品には、お客様ごと、物件ごとの製品仕様があり、ご希望ごとに 1 点 1 点異なる品質をつくり上げていくことが必要となります。アオイネオンでは営業・企画・設計から資材調達、製造、施工に至るすべてのプロセスで、全社員が常に「高品質の製品づくり」に取り組んでいます。



## コミュニティへの参画およびコミュニティへの発展 Community Involvement

『地域社会とのきずな』を大切により良い社会・地域づくりに貢献します。

### Point

- ▶ 本年も違反広告物の共同除去活動、「小さな親切運動」のクリーン作戦に参加しました。
- ▶ エコキャップ運動では、従業員・協力会社の皆様が積極的に協力して毎年多くのキャップを回収し、世界の子供たちにワクチンを届けています。
- ▶ 「アオイネオン駅伝部」は毎年各地域で開催されるマラソン大会に出場し、従業員や協力会社様同士が力を合わせ力走しています。
- ▶ 使用済み切手を従業員が持ちより、発展途上国の医療支援に役立てています。

### アオイネオン駅伝部

11月28日に静岡で開催される『第2回 大御所リレーマラソン』に協力会社様含む3チームで「フル・リレーマラソン家臣団の部」に参加しました。家臣団の部全53チームが駿府公園内の周回コース(1周1.4km)を1チーム30周(42.195Km)タスキリレーで完走を目指しました。

結果は、葵ネオンチームが42位、AOINEON Team-Bが49位、AOINEON Team-Aが52位でした。ケガもなく無事全チーム完走できました。



### 共同違反広告除去活動



4月23日



10月23日

4月23日、10月23日に、天満橋周辺で関西ネオン工業協同組合主催の『かたづけたい』に参加しました。貼り紙などの違法広告物の除去や路上の清掃活動を実施しました。

### 『小さな親切運動』

毎年、『小さな親切運動』に参加しています。本年度は1月30日に静岡市中心街でのクリーン作戦に参加しました。



### 『使用済み切手の収集活動』

本年度も心の国際交流事業『使用済み切手』の収集に参加しました。従業員が持ち寄った、使用済み切手を寄付しました。

収集された切手は、小さな親切運動県本部から(財)ジョイセフを通じて換金され、発展途上国の生活改善や医療支援のために活用されます。



### 『エコキャップ運動』

ペットボトルのキャップを分別回収し再資源化することにより、CO<sub>2</sub>の発生抑制に寄与できると同時に、キャップの売却益で世界の子供たちにワクチンを届けます。

本年度よりエコキャップの回収団体を「NPO法人 キャップの貯金箱推進ネットワーク」に変更してエコキャップ運動を継続してまいります。

本年度も社内だけでなく多くの協力業者の皆様にも積極的にご協力していただきました。ありがとうございます。



静岡本社



東京本社



### Interview

大阪支店  
水島 正廣

私は初めてこのような活動に参加いたしました。始まるまではあまり何も考えていませんでしたが、やり始めると以外に気づいていない所にゴミは捨ててあるものだと感じました。あと、地域の皆さんに声を掛けていただいた事に嬉しく思いました。これからもこのような活動があれば参加してみたいと思いました。

# 2015年CSR行動計画



組織統治



公正な事業慣行



環境



労働慣行



人権



消費者課題



コミュニティへの参画  
および  
コミュニティへの発展

## 守るCSR【40項目】 リスクを軽減し、企業を守る

★★★…出来ている  
★★☆…改善の余地あり  
★☆☆…不十分

No	ISO26000	指標	目標	2015年結果	2016年以降の目標
1		経営理念などの自社の中核的価値観、規範を定めて従業員に明示する	経営理念の策定、掲出、配布、唱和	★★★	学習、コミュニケーションによる経営理念の浸透
2		経営者が定期的に事業の状況や方向性などを従業員に伝える	朝礼、月例会などによる業績説明	★★★	朝礼、月例会などによる業績説明の継続
3		株主総会や取締役会など、法令で定める組織の意思決定機関を適法に開催し、議事を記録する	3か月に1回以上の取締役会の開催、適法な招集通知に基づく株主総会の開催、議事録の作成	★☆☆	3ヶ月に1回以上の取締役会の開催と議事録の作成
4		組織的に法令違反を予防、発見するための具体的な措置をとる	内部通報制度の構築、与信管理における反社会的勢力関連のチェック、実質的な監査役監査、内部監査の実施、弁護士の利用	★★☆	社内外に設置した相談窓口の積極的な活用を促す
5		子会社に対して、法令順守および内部統制に関する具体的な監督を行う	該当なし	該当なし	該当なし
6		公務員との適法な関係を保持するための具体的な措置をとっている	公職者との交際方針の策定、方針に基づく役員、従業員への監督、交際費支出のチェック強化、政治献金などの支出記録の保存	★★★	役員、従業員に対して倫理綱領に基づく教育を継続
7		取締役などの全ての役員は管掌する具体的な業務を有する	役員管掌業務の明示、取締役規程などの策定、組織図の作成	★☆☆	役員管掌業務の明示、取締役規程履行継続
8		直前の期の時点で債務超過かつ2期連続の赤字決算とならない	借入依存度の圧縮、役員借入金のDES(債務の株式化)の実施	★★★	借入依存度の圧縮
9		税理士を利用し、決算および税務に関する書類を適法に作成する	税理士の利用による適法な処理	★★★	決算および税務に関する書類の適法性を維持
10		配当を実施する場合は適法に行う	会社法などの所管法令の基準内の配当	★★★	所管法令の基準内の配当を維持
11		財務の健全化のための具体的な措置をとる	支払条件の改善、借入条件の改善、試算表の作成、買掛債務、売掛債権の管理体制の構築、月次決算の早期化	★★☆	月次決算の早期化
12		取引先に対する優越的地位の濫用した不当な要求、その他の圧迫を行わないための具体的な措置をとる	調達基準の策定、与信管理規程の策定、スポンサーメリットの禁止、取引先接遇マナー研修の実施	★★☆	コンプライアンス研修・セミナーの実施
13		災害に遭遇した場合でも事業を復旧し、継続するための計画や準備をする	BCP(事業継続計画)の策定、防災用品の備蓄、防災訓練の実施	★★☆	BCP(事業継続計画)の策定
14		従業員とその扶養家族のマイナンバー(個人番号)やその他の個人情報の漏出、不正な変更、法定外目的の利用などを防ぐために、その取得および取扱ルールを定め、技術的な防護措置を採る	情報管理規程の策定、PC、スマートフォンなどのセキュリティソフト導入	★★☆	全事業所でのISO27001認証取得
15		顧客情報や業務情報の漏出、不正な変更、法定外目的の利用などを防ぐために、その取得および取扱ルールを定め、技術的な防護措置をとる	情報管理規程の策定、PC、スマートフォンなどのセキュリティソフト導入	★★☆	全事業所でのISO27001認証取得
16		雇用形態に関わらず、全ての従業員と労働条件を明示した労働契約を書面で交わす	雇用契約書の作成	★★★	契約書による雇用契約の継続
17		雇用形態に関わらず、全ての従業員に関するデータを作成して管理する	労働者名簿の作成	★★★	データの適正管理と個人情報の保護
18		就業規則などの行動規範を定め、従業員が常に参照可能な状態にする	就業規則の策定およびそのアクセスの保障、法改正に伴う規則の見直し	★★☆	法改正に伴う規則の見直し
19		雇用形態に関わらず、全ての従業員の労働時間を把握する体制を敷く	出勤簿の作成、タイムカードの導入、社会保険労務士の利用	★★★	雇用形態に関わらず、全ての従業員の労働時間を把握する体制の継続
20		記録された労働時間などに基づき、従業員の給与、手当を正確に支払う	賃金台帳の作成、タイムカードの導入、社会保険労務士の利用	★★★	記録された労働時間などに基づく従業員の給与、手当の支払い継続

※No.5は弊社に該当しないため「該当なし」と表記しています。

No	ISO26000	指標	目標	2015年結果	2016年以降の目標
21		サービス残業などの「事実上の無償・強制労働」を予防するための具体的な措置をとる	職場パトロールの実施、タイムカードと業務用PCの一体的管理、残業申請制度の導入	★★☆	職場パトロールの実施、残業申請制度の導入
22		従業員の1週間当たりの労働時間が法定労働時間の範囲内である又は適法な手続きによって法定労働時間の上限を延長する	タイムカードの導入、三六協定の実施	★★★	適切な三六協定の継続
23		過重労働を防止するための具体的な措置をとる	有給休暇取得率の目標値設定、ノー残業デー、在宅勤務などの柔軟な勤務体制の実施	★☆☆	ノー残業デー実施率向上、有給休暇取得率の目標値設定
24		労働災害を予防するための具体的な措置をとる	KY活動、ゼロ災運動、労災予防の啓発、通勤経路の把握	★★☆	通勤途上の事故防止措置
25		労働災害が発生した場合は、法令に定める官公署への報告および受傷者などへの補償を行う	労働者死傷病報告の作成・提出、労働者災害補償保険による補償	★★★	官公庁への適切な労働者死傷病報告の継続
26		事業所などにおいて従業員の健康的な労働環境を保全するための具体的な措置をとる	禁煙、分煙、休憩所の設置	★★☆	事業所内での全面禁煙
27		事業の再建などにおける従業員の削減や出向、配置転換などは、退職強要行為や嫌がらせを行わず、適法に行う	整理解雇の4要件の充足、実施経過の記録	★★☆	転勤、配置転換など従業員の意思を尊重し行う
28		人事考課において、法令に定める権利の行使を理由とした実質的な報復措置および性別、障害、疾病、国籍、学歴、宗教、支持政党などを理由とした差別を行わない	人事考課基準の策定および明示	★★☆	人事考課基準の見直し
29		法令で対象とされる全ての従業員に対し、法定健康診断を受診させる	対象者の受診	★★☆	再検査者への受診徹底
30		セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどの人権侵害を予防するための具体的な措置をとる	就業規則への禁止事項追加、ハラスメント防止の啓発、セミナーの受講、相談・通報窓口の設置	★★☆	就業規則への禁止事項追加
31		法令に定める従業員のストレスチェックを実施する	法令に定めるストレスチェックの計画策定と実施	★☆☆	ストレスチェックの実施
32		製品やサービスの生産に関するトラブルを回避し、品質を安定させるための具体的な措置をとる	業務、材料の標準化、作業工程の見直し、QC活動	★★☆	作業工程の見直し
33		製品やサービスの経済性や環境性を追求するための具体的な措置をとる	バリューエンジニアリング、選別受注、取引先・発注方法の見直し、作業工程の見直し、QC活動	★★☆	取引先選定基準、発注方法の見直し
34		製品やサービスの生産に関する作業環境の継続的かつ具体的な改善に取り組む	5S活動、QC活動、クレーム対応制度の構築	★★☆	5S活動の強化
35		製品やサービスの提供プロセス、営業プロセスにおいて、法令で規制されている有害物質の混入や違法な営業行為などを発生させないための具体的な措置をとる	調達方針の策定・明示、検収・作業工程のチェック強化、業務、材料の標準化、営業活動の方針・ルールの策定・明示、知的財産権の利用状況をチェック	★★☆	組織体制・作業工程の見直し
36		製品やサービスに問題が生じた場合、回収、補償などを行う体制を敷く	事業保険、生産物賠償(PL)保険への加入、クレーム対応制度の構築	★★☆	不適合製品・クレーム対応方法の見直し
37		製品やサービスに問題が生じた場合、原因を解明して再発防止策を講じる体制を敷く	問題記録の作成、再発防止策の検討、クレーム対応制度の構築	★★☆	不適合製品・クレームに対する是正処置の見直し
38		受注および発注は記録を作成して管理する	受発注台帳の整備、受発注システムの構築	★★☆	基幹システムの見直し
39		事業における廃棄物の処理を適法に行う	廃棄物処理業者の利用、マニフェストの保管	★★★	産廃適法処理の継続
40		事業における騒音、振動、臭気、汚水、その他の有害物質の排出を法令の基準以内に抑制する	適用法令の確認、法令に適合する設備の設置、設備の法定点検の実施	★★★	法令に適合する設備の設置、設備の法定点検の継続

「静岡市CSRパートナー企業表彰」セルフレビュー60項目(守るCSR:40項目)を引用しています。



組織統治



公正な事業慣行



環境



労働慣行



人権



消費者課題



コミュニティへの参画  
および  
コミュニティへの発展

# 弊社のCSR活動に対する第三者評価

「静岡市CSRパートナー企業表彰」セルフレビュー60項目に基きCSR評価をしていただきました。

## 2015年CSR行動計画

伸ばすCSR【20項目】 社会にプラスの影響を与え、企業価値を伸ばす

★★★…出来ている  
★★☆…改善の余地あり  
★☆☆…不十分

No	ISO26000	指標	目標	2015年結果	2016年以降の目標
41		中期経営計画などの経営計画を策定し、運用している	中期経営計画の策定、CSR活動と経営計画の一体的取り組み、経営革新計画の認定取得	★★★	CSR活動と経営計画の一体的取り組みを全社に浸透させる
42		従業員同士やその扶養家族などの親睦、慰安を図るための具体的な活動を行う	会社負担による懇親会の実施、社員旅行、社内運動会の開催、社内クラブ活動の支援、扶養家族を含めた福利厚生	★★★	懇親会、社内クラブ活動の支援を継続
43		障害者の勤務に適した労働環境を整備し、障害者を雇用する	事業所などのバリアフリー化、法定雇用率以上の障害者雇用、障害者雇用促進法に基づく特例子会社の設置、授産事業の開発、障害の性質に応じた業務方法の見直し	★★☆	障害者勤務に適した労働環境の整備
44		定年を設けない又は65歳以上の従業員の就労が可能な状態にする	就業規則における定年の撤廃、高齢者雇用の位置づけ	★★☆	65歳以上の従業員の就労が可能な状態にする
45		役員親族以外の女性役員や管理職を常勤させる	常勤する女性役員、管理職の登用、育成計画の策定・実施	★☆☆	女性の管理職育成計画の策定
46		従業員とその配偶者の妊娠や出産、育児などに配慮した労働環境を整備する	出産、育児休暇の取得推奨のための啓発、出産、育児休暇期間の延長、復職体制の整備、育児に伴う就業時間の変更、家族手当の支給	★★☆	出産、育児休暇の取得推奨のための啓発
47		社会的弱者や差別問題への理解を深めるための具体的な行動をとる	ノーマライゼーション教育の実施、啓発	★☆☆	ノーマライゼーション教育の実施
48		研修の受講など、従業員の能力を向上させるための人的投資を行う	社内外における研修の受講、資格手当、資格取得奨励金の給付、大学院・研究機関への派遣、異業種交流会への派遣	★★☆	資格取得支援制度の継続、資格取得の奨励
49		組織内における具体的なCSRの教育・普及活動を行う	CSR教育の実施、部門・担当者に偏らないCSR活動、OJTによるCSR教育	★★☆	部門・担当者に偏らないCSR活動
50		組織の施設運営や業務の管理において環境問題、社会問題の抑制につながる具体的な措置をとる	施設の緑化、省エネ活動、エコカー、LED照明などの省エネ機器の導入、エコ通勤・時差通勤、柔軟な勤務体制の実施	★★☆	勤務体制の見直し
51		環境問題や社会問題に取り組む製品、サービスを提供する	環境問題や社会問題の解決、緩和につながる製品やサービスの製造、販売	★★☆	カーボン・オフセット・サイン、看板ドクターの普及
52		環境問題や社会問題に取り組む製品、サービスの研究開発、投資などを行う	環境問題や社会問題の緩和につながる製品、サービスの研究開発、ソーシャルベンチャー企業への出資・育成	★★☆	カーボン・オフセット・サイン、看板ドクターの改良、新たなサービスの開発
53		環境問題や社会問題に配慮したサービスや資材の調達を行う	調達方針の見直しによるCSR調達の実施、業務に必要なリソースの地産地消、環境負荷が低いサービスや資材の調達、寄付付きのサービスや資材の調達、授産施設、刑務作業の利用	★★☆	CSR調達基準の策定
54		CSR活動の実践に際して、組織外部の多様なセクターと連携する	他社、NPO、市民団体、官公庁との連携によるCSR活動	★★☆	行政と連携した屋外広告適正化、CSRの浸透
55		CSR活動を適切なチャンネルやメディアで発信する	CSRレポートの発行、企業案内・自社サイト、雑誌などへのCSR情報の掲載、CSR・社会貢献関連のイベントへの出席・参加	★★☆	CSR特設WEBサイトの充実、コミュニケーション機能強化
56		CSR活動に関し、組織外部のステークホルダーの声を汲み取るための具体的な行動をとる	地域住民、取引先などとの意見交換会(ステークホルダーダイアログ)の実施	★★☆	ステークホルダーダイアログの実施
57		経済団体、業界団体などに加入し、地元経済界や所属業界の活性化に関与する	商工会議所、法人会、業界団体などへの加入	★★☆	業界団体と協同し、屋外広告物の適正化を図る
58		組織として社会貢献活動などに協力する	災害復興、社会事業、地域の祭礼、環境保全活動、イベント、スポーツ事業、文化事業、学校教育などにおける寄付や労務の提供	★★☆	カーボン・オフセット・サインによる被災地復興支援
59		役員が自ら社会貢献活動に協力する	役員による社会貢献活動への参加	★★☆	役員による社会貢献活動への参加頻度の増加
60		従業員が自発的に社会貢献活動などに参加しやすくするための具体的な支援を行う	ボランティア休暇の付与、ボランティア活動の出動扱い、活動費の補助	★☆☆	ボランティア支援制度の整備

「静岡市CSRパートナー企業表彰」セルフレビュー60項目(伸ばすCSR:20項目)を引用しています。

### CSR活動評価



準拠：静岡市CSRパートナー企業表彰制度セルフレビュー

評価者：泉貴嗣(允治社)

評価実施日：2015年11月11日

※この評価は静岡市CSRセルフレビューを用いて実際に確認できたアオイネオンのCSR活動を元に行っている。

#### 1. 評価結果

静岡市CSRパートナー企業表彰セルフレビュー達成状況		
大分類	達成率	総合達成率
守るCSR(40項目)	94.8%(除外により37/39項目)	91.5%(除外により54/59項目)
伸ばすCSR(20項目)	85.0%(17/20項目)	

#### 2. 評価結果に対する所見

**【守るCSR】**  
取締役会議議事録の要件不備など、若干かつ軽微な問題が認められたが、改善が比較的容易なことであるため、過大にリスク視する必要はないと認められる。  
また、各審査項目の可否判断に供する資料の整備状況も良好であり、レビューを通じて諸規程とPDCAサイクルの運用がおおむね適正に行われていることが確認でき、中小企業としてのコーポレートガバナンスに関して、良好な水準を保持しているものと評価できる。  
今後も事業規模に比例したコーポレートガバナンスへの経営資源の投入と、定期的な守るCSRのモニタリングをすることで、事業リスクの低減につながるものと思料される。

**【伸ばすCSR】**  
一般的な中小企業が社会問題や社会貢献活動への接点が少ないことを考慮すれば、事業の中核、周辺双方において多様なステークホルダーとのコミュニケーション・協働を進めていることが認められる。  
ただし、今後の一層の少子高齢化の深刻化は中小企業一般に対して採用難などの問題をもたらすことは必定であり、そのためにも業務方法の見直し・再編成などを視野に入れ、女性や社会的弱者の活用を具体的に着手することが望まれる。

**【総合所見】**  
この所見はレビューを通じてアオイネオンの「CSR活動の外観」を評価したものである。特定の審査項目が「可」とされるのは、顕在化したCSR活動の外観を評価しただけに過ぎず、可の評価を以てそのCSR活動が完成の全きに至った訳ではない点に留意する必要がある。  
CSR活動を通じた事業リスクの低減と企業価値の創造を両立させるためには、可となった審査項目であっても、当該審査項目に関連する領域のCSR活動の質的進化とバリエーションの拡大に継続的に取り組むことが望まれる。  
守るCSRについては事業リスクを低減する企業の基本的活動ではあるが、いつまでもこれのみに経営資源を集中させることは、本来新たな企業価値の創造、つまり伸ばすCSRに向けられるべき経営資源までも「浪費」することになりかねず、その集中自体が事業リスク化する可能性が大きくなる。このため守るCSRと伸ばすCSRのバランスを考慮した経営資源の配分を経営層が意識的に行うことが望まれる。

(以上)



泉 貴嗣様

CSRコンサルティング事務所「允治社」代表  
東京農工大学大学院連合農学研究所博士課程満期退学

CSR(企業の社会的責任)コンサルタント。  
大学の研究員、講師としてCSR教育や産学連携教育などを担当した後、独立。自治体が直接企業のCSR経営を認証する初めての取り組み「さいたま市CSRチャレンジ企業認証制度」、静岡市の「静岡市CSRパートナー企業表彰制度」の制度設計などを手掛け、現在さいたま市CSR推進コーディネーター、静岡市CSR企業表彰専門委員会委員長として両市のCSR施策を支援。またJASDAQ企業、第一カッター興業株の監査役なども務める。

## 本年度メディア記事掲載のご紹介 (2014年8月～2015年7月)

### 【新聞掲載】

平成27年1月22日	静岡新聞	CSRJAPAN年間アクセスランキング1位
平成27年1月26日	総合報道	CSRJAPAN年間アクセスランキング1位
平成27年1月22日	新聞研究往来	CSRJAPAN年間アクセスランキング1位
平成27年1月22日	新聞展望	CSRJAPAN年間アクセスランキング1位
平成27年5月4日	ビル新聞	看板ドクター®+看板マネジャー®
平成27年5月4日	新聞展望	看板ドクター®+看板マネジャー®
平成27年5月25日	総合報道	看板ドクター®+看板マネジャー®
平成27年6月15日	総合報道	C・O・S® (カーボン・オフセット・サイン)
平成27年7月24日	新聞展望	C・O・S® (カーボン・オフセット・サイン)
平成27年7月25日	総合報道	C・O・S® (カーボン・オフセット・サイン)

### 【雑誌掲載】

Sign&Displays 2015年2月号	CSRJAPAN年間アクセスランキング1位
Sign&Displays 2015年5月号	看板ドクター®+看板マネジャー®
Sign&Displays 2015年6月号	C・O・S®カーボン・オフセット・サイン
POP EYE 2015年6月号	看板ドクター®+看板マネジャー®
Sign&Displays 2015年8月号	C・O・S®カーボン・オフセット・サイン

### 【ウェブサイト掲載】

2015年2月1日	CSRJAPAN	横山社長インタビュー
2015年7月1日	CSRJAPAN	CSR担当者インタビュー
2015年7月6日	韓国YEONG-MAN日報	看板ドクター®他

## 「CSRレポート2014」へのご意見・ご要望 (抜粋)

### 評価していただいたご意見

- ・とにかく分かり易い報告書にとっても感心しました。これを手作りでというのは本当に驚きです。更には看板という商品を見直すきっかけになりました。景観保護の観点や環境保全、安全性を重視した事業にとっても興味をもちました。私のなかでアオイネオンさんの印象は急上昇です。(企業 女性)
- ・非常にしっかりした内容で、大変感服いたしました。企業が持続的に存続、成長し続けるためには、こういった取組みに真摯に向き合わなければならないと思います。御社はまさにそれを実行されているのだと思いました。(企業 男性)
- ・CSR Challenge、CSR Standard、CSR WEBサイトに分けたそれぞれの目的も明確で、充実した内容のレポートだと思います。また、ISO26000の7つの中核主題に沿った報告もなされており、世界の標準をも意識した、大変意欲的なレポートだと感じました。(有識者 男性)

### ご要望などのご意見

- ・ページの各アイコンが可愛らしく効果的で全体的に癒し系だなあと感じました。スペースも広くとられていて窮屈な感じがしないのが好印象でした。詳細について記載している文字が少し小さいので、もう少し大きければもっと読みやすいと感じました。(企業 女性)
- ・09ページ目のタイトルの「未来をカタチにする『COS TREE』」の『COS TREE』の登場の仕方が少し唐突かなと感じました。「『COS TREE』とは、・・・に向けたビジョンです。」とか、「・・・の達成に向けたビジョンを『COS TREE』と名付けました。」のような説明があっても良いかなと思いました。(行政 男性)
- ・全体的に文字と図や写真とのバランスがよく、白地にピンクと水色を基調とした優しい色遣いで、とても読みやすい一冊になっていると思います。現場の看板ドクターや、御社で誇りを持って働く従業員、御社のCSRを実感している従業員などの声を掲載することで、さらに魅力的なレポートになるのではないかと思います。(学生 女性)

CSRレポート2014へ多数のご意見・ご感想を頂戴しまして誠にありがとうございました。

## 編集後記

CSRレポート2015をお読みいただきありがとうございました。

本年度はCSRコミュニケーションを通じて、様々なご意見のほか、アオイネオンのCSR活動のご紹介や企業見学会のご依頼など多くのお問い合わせに対応させていただきました。このような対応の一環としてこれまではアオイネオンと直接的な関わりの少なかったメディアや有識者、CSRコンサルタント、CSR企業、学生といった皆様とも積極的に交流や意見交換を行いました。CSRレポート、WEBサイトなどを第三者ならではの視点から分析評価していただき意見を聞くことでCSRコンテンツの視点や考え方に刺激を受け、より魅力のあるCSRレポートに変えていくきっかけとなっています。

今後もわかりやすく充実したレポート、WEBサイトを目指してまいりますので率直なご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。

アオイネオンCSR委員会総務

本レポート・WEBサイトへのご意見・ご感想・お問い合わせはこちら

お電話でもFAXでもご意見・ご感想いただけますと幸いです。



<https://www.aoineon.com/contact/>

静岡本社 管理部 TEL:054-282-1221  
FAX:054-285-5089

## 企業概要

社名	アオイネオン株式会社
創業	昭和26年8月
設立	昭和32年1月
資本金	5,750万円
従業員数	59名 (男子49名・女子10名) <small>※2015年11月現在</small>

代表取締役社長 横山 巖

工場	静岡工場 東京工場
業務内容	ネオン・広告塔・館内サイン 企画・設計・施工・検査診断



静岡本社・工場

〒422-8076  
静岡市駿河区八幡2-11-11  
TEL 054-282-1221



東京本社・工場

〒146-0082  
東京都大田区池上3-6-16  
TEL 03-3754-2111



大阪支店(本町サミットビル3F)

〒541-0057  
大阪府中央区北久宝寺町4-3-5 3F  
TEL 06-6281-3621



福岡営業所

〒810-0012  
福岡市中央区白金1-17-18  
TEL 092-523-3660